

図書館とわたし

「心の1ページ」 卒業生だより

—普通科93回生 音楽科53回生—

卒業生からのお便りを紹介します。

図書館の思い出や読書について、それぞれの想いを語ってくれています。
みなさんのこれからの学校生活にプラスになるものを、先輩たちの言葉の中からみつけてください。

2021年7月

神戸山手女子中学校 高等学校図書館

皆さんは、図書館や本屋のなかを
隅々まで見たことはありませんか？
何度か図書委員を務めていた私です
が、一番奥に足を踏み入れたのは高3
の2学期末のことでした。委員の仕事
で棚の整理をしていたときに
「そういえば奥の本棚って見たことな
いな。どんな本があるんや？」
という好奇心がきっかけでした。
そこには古めかしい古典文学、美術
作品集がずらりと並んでいて、私には
とても神秘的に感じました。

宝さがし

山本 晴香



『西洋蔵書票』(岩崎美術社)より

そしてとなりの本棚、そのまたとな
りと見ていくと、イラストを描いたた
めのポーズ集、妖怪や都市伝説を記した
本などの様々なジャンルの本が見つ
かり、私は今まで図書館に通ってなかつ
たことを後悔しました。
「なんだ、このかゆい所に手が届くよ
うな空間！最高すぎない!？」
と冗談めきで思いました。
図書館が「宝の山」であるというこ
とに気づいてから、私は可能な限り図
書館に足を運んで宝さがしをしていま
す。この間は小学生のときに読みふ
けていた『黒魔女さんが通る!』と天
文学の本を何冊か発見しました。図書



「第6回高等学校ビブリオバトル西日本大会」/活字文化推進会議主催/2019年11月



「令和元年度兵庫県ビブリオバトル高校生大会」/兵庫県立図書館主催/2020年1月

とても良い経験になりました。
この大会に出たことにより、私は以
前より自分に自信を持つことができました。
皆さんも自分は苦手だと思うこと
に、思い切ってチャレンジしてみてください。
どうぞ一歩ふみ出してみてく
ださい。その先にはつらいこともある
と思いますが、必ず自分自身の為にな
ることがついてきます。ただし、必ず
しも結果がついてくるとは限りませ
ん。それを得られるか得られないかは、貴
女次第なのです。

図書館とわたし

吉本 若菜

文化祭の本の展示の準備をしたとき、説明文やイラストを書くのが楽しかった。
これからも本を読みたいと思います。

図書館を利用して

永安 風花



文化祭での展示/2020年9月

私はこの3年間、図書館を利用させて
いただいた、本を読むことの楽しさ
を知り、そのおかげで勉強の幅が広
まりました。
昔から本を読むことは好きでしたが、
あまり読んではいなかったもので、も
とと読みたくないと思っていた私は、
この高校に入り、図書館に行く機会も
増えたので、本をたくさん読むことが
できました。もともと国語が苦手な私
は本を読んでも分からないことだらけ
でしたが、高3の春ごろになってから、
本をいっぱい読んだおかげだと思いま
すが、語彙力も上がり、国語ができる
ようになりました。

心が休まる場所

富山 陽香

私にとって図書館は心の休まる場所
です。昔から本を読むことが大好きで、
高校1年生の頃から、この図書館を
よく利用していました。
図書館には、勉強の本や料理の本も
あり、小説だけでも様々なジャンルの
本があります。たくさんあるので、読
みたい本がすぐに見つかります。もし
見つからなくても、司書の先生が優し
く声をかけて下さり、おすすめの本を
教えてくれます。私は、普段ミステリ
ーやファンタジー系の本をよく読むの
ですが、司書の先生におすすめしても
らった本を読み、好きなジャンルの幅
が広がりました。
図書館はとても落ち着くので、勉強
をしている際に、疲れたときにはよく
立ち寄りました。気分を変えることが
できたので、勉強にも集中して取り組
めたと思います。
私は図書館に思い出がたくさんあり
ます。通い始めてから、更に本に関心
を持つようになりました。まだあまり
いったことがない人は一度行ってみて
下さい。皆さんにとって、とても素晴
らしい場所になると思います。

館前に展示されている本は定期的に変わっていて、そこから本を選んで借りることもありました。前回のリレー講演会をきっかけに、好きな宇宙がテーマの書籍や新聞の記事が掲示されていたときには嬉しくて嬉しくて、見るたびに、

「これがきっかけで宇宙に興味持つ子が増えたらいいなあ。」

なんて願っておりました(笑)。

皆さんも一度、暇つぶしがてらにでも図書館に足を運んでみては？

「お宝」が見つかったときは快感、気持ちいいですよ！



イラスト：山本さん

図書館を利用しよう！

阪本 萌衣

私は3年間図書館を利用し、本を読むことがもつと好きになりました。

きっかけは家の掃除をしていたと、『ノルウェイの森』の上巻のみを発見し下巻が気になり、図書館に訪れたことです。司書の方に案内してもらい、さらにおすすめの本の紹介までしてくださったり、本の感想を伝えるところから話が弾み、とても親しくなることができました。

それだけでなく、「よんでみませんか」や本の特集コーナーが設けられていることで、普段は読むことのないようなジャンルの本にも触れることができ、新しい知識や考え方が身につきました。とても工夫された図書館なので、ぜひ利用して欲しいです。

また、授業や自習にも使うことができ、大きなスクリーンで映画を見ることが出来ます。本をあまり読まない方も、これを機会に図書館を活用してみてください。きっと素敵な本と出会うことができると思います。

山手図書館

山崎 愛花

本好きな私にとって様々なジャンルの本が大量にある山手の図書館はとても魅力的で大好きな場所でした。

ですが私にとってただ本を借りたり、読むためのだけの場所ではありませんでした。今回は私の思う山手の図書館の魅力について書こうと思います。

私が印象に残っているのは中学1年生のときに図書館の先生に誘われ、ビブリオバトルというイベントに参加したこと。このイベントはお気に入り本の本を自らPRして、他の人と競うイベントです。今まで本に関するイベントに参加したことがなかったのでも緊張しましたが、ちょっとした賞もいただくことができました。達成感も味わえ、自分の経験値にもなったので、本当に参加して良かったと思います。ビブリオバトルは毎年行われていて誰でも参加できるので興味のある人は参加してみてください。

また、山手の図書館は私にとっての自習室でもありました。中学生の私にとつての図書館は主に本を借りることと読むことが主でしたが、高校生の私にとつての図書館は、とても集中でき

面白い本

福本由季

図書館には、表紙を見ただけで眠らせてくるつまらない本以外にも面白い本はたくさんあります。

長い話が苦手な人は、『5秒後に意外な結末』がおすすです。この本は1ページで完結し、読みやすく小説というより絵本のように面白いです。あと、私が一番おすすしたい本は、はやみねかおるさんの『モナミは世界を終わらせる？』です。この小説は、ギャグもので私はこれを読んでいるとき、



イラスト：山本さん

面白過ぎて腹筋が壊れるかと思いました。図書館にはこんな本があるのでぜひ来てください。

私は中学で図書委員を3回やったのですが、高校になり図書委員をやるうとしたら希望者が多く、じゃんけんで決めることになって負けまくりました。

る勉強スペースでした。山手には専用の自習室もあるのですが、自習室特有の無音でピリピリした空間が苦手だった私にとって、開放的で程よい音が入ってくる図書館は絶好の勉強スペースでした。テスト期間や検定前、受験前に友だちと放課後になると図書館に行き、勉強しました。もちろん、勉強に關する本もたくさんあるので、すぐ調べられるところも魅力です。

本が苦手な人も雑誌や映画の原作など、読みたい本が見つかると思います。もちろん私のように自習室が苦手な人にとつてもちょうどいい勉強スペースにもなります。図書館に全く行かないという生徒もたくさんいると思います。ぜひ一度図書館に行ってみてください。



第39回生徒図書委員研修会
「ビブリオバトル」/兵私SLA
主催/2015年11月

結局のところ高校では高3の最後にやっとなれたこの1回きりでしたが、楽しくできて良かったと思っています。

図書委員に8回なつてみた

井上 陽南子

私が本に興味を持ち始めたのは、中学2年生の頃でした。もともと大人しい性格だったため、幼い頃から読書をして暇をつぶしていたように思います。本格的に本に興味を持ち始めた中学2年生のとき、初めて図書委員になりました。図書委員の仕事は私に合っていたらしく、とても楽しかったです。

高校に進学してからも、私は何度か図書委員になりましたが、2年生であることに出会ったのです。それは「ビブリオバトル」という大会でした。この大会は、各自が自分の一番好きな本を持ちより、その本について5分間でプレゼンテーションをするという内容でした。前述したように、当時の私はとても大人しく引つ込み思案なところもあり、こんな大会に出るなんて考えられませんでした。しかし一度出てみると、とても面白くまた出てみたいと思つたのです。その後、もう一度大会に出させていただきました。どちらも優勝することはできませんでしたが、